2007年度				
生理学		対象学科・学年 薬学部薬学1[回生	#### 雪村 時人 田中 静吾
授業テーマ 人体の生理的調節機能				
授業の概要と目標 ホメオスタシス(恒常性)の維持機構を個体レベルで理解するため、生体のダイナミックな調節機構に関する基本知識の習得 を目指します。そのために、各臓器を機能系ごとに分けて、生理機能の説明をします。さらに、病態生理学的な視点から解説を 加えます。				
評価方法 定期試験およびその他(出席など)により評価します。				
	しい機能形態学		著者(編集) 小林 静子 馬場 広子 平井 みどり	出版社 廣川書店
	書 タンダード薬学シリーズ4 生物系薬学 【生命体の成り立ち		著者 日本薬学会編	出版社 東京化学同人
授業スケジュール・内容				
1.	神経・筋の調節機構Ⅰ	神経の興奮と伝達の調節機能		
2.	神経・筋の調節機構 II	シナプス伝達の調節機構		
3.	神経・筋の調節機構 III	神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構		
4.	神経・筋の調節機構 IV	筋収縮の調節機構		
5.	ホルモンによる調節機構I	主要なホルモンの分泌機構および作用機構		
6.	ホルモンによる調節機構II	血糖の調節機構		
7.	循環・呼吸系の調節機構Ⅰ	血圧の調節機構		
8.	循環・呼吸系の調節機構II	肺および組織におけるガス交換		
9.	循環・呼吸系の調節機構 III	血液凝固・線容系の機構		
10.	体液の調節機構Ⅰ	体液の調節機構		
11.	体液の調節機構 II	アシドーシスとアルカローシス		
12.	体液の調節機構 III	尿の生成機構と尿量の調節機構		
13.	消化・吸収の調節機構I	消化吸収における神経の役割		
14.	消化・吸収の調節機構II	消化吸収におけるホルモンの役割		

体温の調節機構

15. 体温の調節機構